

高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School



東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報

発行所：東海大学付属高輪台高等学校同窓会

〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16

Tel.03-3448-4011 Fax.03-3448-4020



Vol. 13

「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

第五回定期総会を終えて



高輪会会長 土方 啓司

昨年は10月28日に東海大学校友会館において高輪会「第五回定期総会・懇親会」を無事に終了することができました。これも一重に会員皆様方のご助力の賜物と役員一同心から感謝いたすとともに、会報紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。当日は昭和20年代の先輩から平成年代の会員の皆様まで多くの会員の出席をいただき、高輪会「第五期体制・事業報告・収支報告・会則改定」等の議案成立を成すことができました。お蔭様を持ちまして新たな気持ちで第五期活動に入ることができます。総会後の懇親会では恩師・教員・来賓・会員が一体となって旧交を温められたと共に吹奏楽部の歓迎演奏をも楽しむことができました。会後半は大画面薄型テレビ・デジカメ&プリンタを始めとした豪華賞品の抽選会が催され参加された皆様、大いに盛り上がることができました。

本年の高輪会入会式では、男子314名、女子170名の新会員を迎えて総勢23,386名の会員となりました。近年は児童の少子化が加速され各校とも非常に厳しい状況になっていることを聞き及んでおりますが母校「高輪台高校」にあっては学校サイドの努力の賜物で厳しい倍率の中、中等部90名、高等学校441名の新入生を迎える「中等部第2回、高等学校第65回入学式」が行われ在校生も1,567名を擁する大きな学校となっております。学校環境の厳しい中ではありますがこのことは卒業生にとっても誇りに思え喜ばしいことと思っております。更に7月には同窓生・在校生や関係者が一体となるような感動がありました。それは高輪台高校野球部が全国高校



竹中部活動後援会長・土方会長・賀来後援会長



準優勝盾と表彰状

野球選手権大会東京大会で決勝に進出したことです。決勝戦前には多くの同窓生からも連絡をもらい決勝戦当日は同窓生と共に神宮球場まで応援に行きました。応援席は最上段まで空席の見当たらない程いっぱいの状態で、応援中も後援会の方々から幾度となく冷たい飲み物・タオル等の差し入れをもらい裏方の皆様にも感謝でした。野球部のみでなく、吹奏楽も今年は3年連続金賞受賞の余波で吹奏楽本選への参加はなりませんでしたがオーストリアで行われた第11回ミッド・ヨーロッパ国際青少年吹奏楽コンクールに参加し見事「優勝」の栄誉を受けてきました。会員の皆様には吹奏楽部演奏の機会が幾度となくありましたがヨーロッパでの快挙も素晴らしいものであります。

高輪会本年の活動は「第三回いとし会」を企画し、久し振りに母校での開催を計画しております。詳しくは第三回いとし会の項をご覧いただき多くの会員の皆様とお会いできるよう、役員一同お待ち申しております。



第5回高輪会定期総会報告

高輪会副会長 杉山 守男

第5回高輪会定期総会を2007年10月28日(日)に霞ヶ関の東海大学校友会館にて開催されました。

総会は総合進行役 杉山が行い 開会の辞を三浦副会長、引き続き土方会長の挨拶、杉校長の挨拶をいただき議事に入りました。

議事内容は第1号議案では、2006年度事業報告として事業報告、収支報告が三浦副会長から提案報告され続いて伊藤監査役からの監査報告がありました。

第2号議案は、大塚副会長より会則改定及び役員の改選の提案がありました。

第3号議案は、役員改選の提案が広村副会長からあり、会長の土方啓司が留任、監査役の伊藤信雄留任、副会長の大塚昭が退任し、監査役へ新任、副会長に新任で宍倉修が、理事に内村宏幸が新任、顧問で吾妻俊治教頭が新任で就任する旨の提案がありました。

その他の役員については留任する旨の提案があり、第1号議案から第3号議案までは満場一致で承認されました。

新旧役員交代がされ土方新会長の挨拶があり、副会長・理事の委嘱が行われました。

引き続き新役員により第1号議案である2007年度事業計画(案)が宍倉副会長から事業計画(案)と収支計画(案)の提案があり満場一致で承認されました。

続いて、長年監査役として高輪会に叱咤激励され現在の会を盛り立てて頂きました本田達雄前監査役に対し、土方会長よりその功労をたたえ記念品を添え表彰を行いました。

広村副会長の閉会の辞をもって無事、議事を終了しました。

新体制による懇親会の開催とあいなり宍倉副会長と平成14年度卒業の野村真弓理事の司会で華々しく幕を開けました。

懇親会は東海大学付属浦安高等学校同窓会会长 青山真二様他のご挨拶など祝



総会

辞を頂き全国吹奏楽コンクールで3年連続金賞を受賞した吹奏楽部の演奏を挟んで、場の雰囲気も盛り上がってきましたところで、懇親会へと移り和気藹々とした中での懇談が行われました。何と言っても懇親会の大きなイベントは大抽選会です。高輪会始まって依頼の大盤振る舞い? 予め配布した抽選用の番号札により会長賞の「SONY」40インチ、フルスペック液晶ハイビジョンTVを始めとして、デジカメ+プリンター、i-Pod、ディズニーランド招待券など空くじなしで、はらはらドキドキの一時を向かえました。該当景品の当選番号が呼ばれますと、場内は歓声とため息で溢れ更に懇談の華を咲かせました。

最後は、各年代事での記念撮影を行い無事、総会の幕を閉じました。



懇親会



役員一同

総会抽選会当選者のコメント 「抽選会で当選して」

今回の総会懇親会での大きな企画としまして、抽選会を行いました。

人気賞品が次々と紹介され、皆様大いに盛り上がって頂きました。

当選された方の喜びの声をお伝え致します。

● S36 卒 藤尾 智

昨年10月、高輪会総会の抽選会で、会長賞の「大型テレビ」が当たりました。

私達のテーブルでは当たりが沢山出て、抽選会も終了間際になり残念ながら外れかなと思っていましたら、土方会長が最後に引いた番号が私の番号でした。その瞬間は、信じられませんでした。

私自身くじ運はなくはずれたと思っていましたので、当たりは嬉しかったのですが、さて、大型テレビを何処に置くかで悩みました。家も古くなり、いずれ直さなければと思っていましたが、娘が結婚し息子も4月に大阪に転勤になり、この機会しかないと思い決心しました。6月から工事に掛り、8月初めに工事も終わり。テレビの置き場所も決まり、大画面・大迫力で北京オリンピックを満喫しました。

ただけいい思いをして、心苦しく思います。これからもいろいろの番組を楽しみたいと思います。素敵な商品を有難うございました。



● S26 卒 栗田 富雄

初めて出席した総会後の抽選会で「デジカメ」が当たった。それは良いのだが当選者はなにか一言という高輪会からの依頼である。

考えていたら漢文を担当されていた近松信齋先生を思い出した。漢文の時間、先生は教科書をほとんど使わずに多くの時間を十八史略の講義に当てた。擊杖歌の時など歌う老人の様を楽しそうに演じられた。今もその時の先生の様子が鮮やかに目に浮かぶ。先生のお蔭で僕は中国古典文学に興味を持つ様になった。

高輪会から出来れば写真もという事であったが頂いたカメラには心像風景を撮る機能がない。写真を付けられないのが残念である。

● S36 卒 波多 俊吾

10年ぶりの高輪会出席でしばらくぶりに懐かしい恩師、同級生と会える楽しみで相模原の自宅を余裕の時間で出ました。霞ヶ関の駅を降り、案内用の地図を頼りに地上に出ました。当日は休日で人通りがなく、とりあえずビルを探しながら何分歩いたか、相当の時を費やしました。心配して同期の柳田君が会場の入り口で待って居てくれました。何故なら会が始まって居ました。(照れ笑い)

総会後の吹奏楽部の演奏(生演奏はいいですね)、続いて抽選会と移っていくわけです。楽しく語らい飲みながら、周りの連中と俺はクジに当たったことがないから空くじをいただいて行きましょう。なんて話しながら当選していく人に拍手を送りながらわいわい騒いでいたら、「波多」名前呼んだぞって声がしました。なんと「デジカメセット」が当たりました。60有余念の中でこんなうれしい驚きはありませんでした。

総会も無事終わり、二次会に参加して又盛り上がり、昨年の総会はひじょうに爽快でした。

追伸:

式の中で校長先生の話の中に、野球部の活躍・吹奏楽部の定期演奏会の話があり、昨年の川崎ミュウザでの演奏会に孫を連れて行きました。今年の夏の都予選、気にして新聞で結果を見て居ました

らついに決勝まで行き、もしかしたらと期待しましたが、今年は残念でした。来年又楽しみを延ばしてくれて野球部の諸君に感謝。



● S37 卒 小林 俊夫

同窓生の皆さん、こんにちは。

37年度卒業の小林と言います。

総会に出席したのは、二度目です。

日ごろ全く籠運の無い私にi-PODが当たりました。自分の番号が呼ばれた時は、一瞬耳を疑いました。

音楽プレイヤーを探していた時だったので、ラッキーでした。

今では、毎日持ち歩いて、音楽漬けの日々です。

いとし会開催のお知らせ

今回で3回目を向かえる「いとし会」ですが、5月24日に実行委員会を立ち上げました。第1回は8年前、平成11年12月12日、恩師・学校関係者・同窓生、約160名の方々が参加されました。第2回は平成14年10月26日、母校の卒業生で菅野宏三氏をお迎えして「今、日本の労働市場で何が起きているか!」というテーマで講演をしていただきました。3年前の平成17年は、高輪会10周年・東海同窓会54周年記念式典を行いましたので、今回が「第3回いとし会」となり6年ぶりとなります。今回を含めて「いとし会」は本校で行ってきましたが、前記の10周年の式典や総会は霞ヶ関ビルの校友会館で行ってきました。又、恒例となっていましたが、屋形船懇親会も続けて行なっています。開催場所が学校というのは6年ぶりとなります。新校舎ができてこの9月で10年になりますが、今回は学校をゆっくり見ていただこうと学校見学を計画しています。地下2階にありますアリー

ナをはじめOA室、武道場、図書館、茶室や各教室のAV設備など、そのほかにも素晴らしい設備がいっぱいあります。又、新しい面と歴史ある本校とを再認識いただける内容も計画しています。私たちには在学中では知ることのできなかった学校の歴史を皆さんに見ていただき、先輩方には在学中の事を思い出していただける懐かしい内容となるものと思いますので、楽しみにしていただきたいと思います。

そして今年はなんといっても、高校野球東京大会予選で我が校の野球部が準優勝しました。その試合の準決勝と決勝のビデオを懇親会中に流そうと思いますので再度感動を皆さんで味わいましょう。

最後に今回は恩師の先生方には事前に連絡を取らせていただいておりますので、先生方との会話も楽しんでいただけると思います。是非皆さんの出席をお待ちしております。

日 時：2008年11月30日（日）
 開 場：10時30分
 開 演：11時
 場 所：東海大学付属高輪台高等学校
 会 費：5,000円（当日受付にて徴収致します）
 問い合わせ：高輪会事務局（森公法）
 TEL:03-3448-4011 FAX:03-3448-4020

■出席予定恩師

小桧山 磐 先生	景 晴正 先生
清水(若宮)智明 先生	直井 寛 先生
佐藤 雄司 先生	本間 直紀 先生
志村 義樹 先生	杉山 元夫 先生
深田 二義 先生	藤原 広司 先生
西園 朋史 先生	中島 洋介 先生
松原 健次 先生	

■第三回いとし会実行委員

実行委員長 宮倉 修(S49卒)	実行委員 鳥海 宏治(S49卒)
副委員長 広村 直行(S52卒)	〃 松本 孝二(S50卒)
実行委員 栗田 富雄(S26卒)	〃 石渡 進(S52卒)
〃 内村 宏幸(S48卒)	〃 鈴木 崇夫(S52卒)
〃 佐合 好正(S49卒)	〃 森井 雅道(S52卒)
〃 佐々木博之(S49卒)	〃 塚本 昇(S62卒)
〃 高橋 忠夫(S49卒)	

2007年度高輪会クラス幹事

2月29日「高輪会入会式」並びに新幹事を歓迎する「歓迎昼食会」を都ホテル東京にて催しました。今年の新幹事は以下の通りとなっております。

1組 緑川 孝浩	6組 北 雄太
2組 伊藤 等美	7組 久山 貢一
3組 平根健太郎	8組 相澤千穂実
4組 内田 清孝	9組 金田一夏実
5組 葛西 裕太	10組 山川翔太郎



新幹事歓迎会（都ホテル東京にて）

会費納入者一覧

納入者の 2009 年度以降の期限を西暦年、下 2 桁にて示す。(卒業年順)

2008 年 (H20) 年 8 月 31 日現在

表中※印は物故者

S23	高橋 強	12	千代田 栄	14	丸田 惟久	12	浅羽 弘益	12	小林 健一	22		
S24	寺門 道弘	09	小林 道治	24	吉田 光雄	27	S52	漆間 康志	11	大井 淳	12	
S25	中西 実	12	大月 隆吉	09	中村 道彦	14		水無瀬元一	09	H 6	北垣 博康	17
	木俣 重隆	12	S34 岸本 康弘	19	武井 良友	10		田中 雅彦	10		平山 学	13
	初川 七郎	11	高岩 正	14	山本 敏一	11		西山 博之	10	H 8	伊藤 卓男	09
	平塚 慶治	09	橋 寿一	14	田所 秀雄	12		広村 直行	10	H 9	青木 孝平	14
	長谷川善治	12	新井 信男	15	三浦 政彦	12		山下 晃	12		横田 賢一	11
	井坂 晉夫	30	横尾 紀憲	12	S41 梅原 晉一	09	S53 二村 文啓	12		萱森 宏樹	11	
※夏目 芳郎	10	星野 玉	12	久松 博	14		谷口 元	12		高原 文彦	11	
長門 新八	10	S35 加瀬 宰	10	實 寿夫	09		長門 秀久	09	H10	清水 正芳	18	
木村 陸	10	今西佐恵記	10	戸叶 幹男	10		三瓶 慎一	12		山本 博之	12	
荻久保武雄	11	小島 邦男	15	大塚 静雄	14	S54 飯塚 正弘	19	H11	村野 太郎	09		
※熊澤 勇	11	澤 利雄	09	長井 信也	10		小林 裕	12		村田 健児	10	
谷口 正光	11	小林 正二	09	初川進一郎	11		高橋 利雄	11	H12	熊澤 文久	11	
中田順之助	12	佐藤 穀	19	松岡 幹雄	12		中村 則之	15	H13	宇田川佑介	11	
鶴岡 幸夫	12	島村 政男	10	S42 後藤 有三	09	S55 新井 一仁	14	H14	坂西 華奈	11		
S26 奥山 貞男	11	敦賀喜悦郎	19	片山 文夫	10		高橋 昇	09		岩本 明子	11	
加藤 慶男	18	S36 黒須 昇一	14	安田 信義	09		横川 忠司	10	H15	高橋 昌寛	11	
※丸山 次郎	09	山崎 弘	14	栗田 隆	09	S56 菅野 博史	12	H16	宮武 綾香	11		
早川 弘	14	土方 啓司	22	金房 憲治	12		巴 誠一	12		小坪 央和	11	
※清水 正三	17	藤尾 智	14	S43 田中 力	17		長瀬 立	12	H18	竹中 和宏	11	
原 道明	09	屋代 光博	11	三原 幸富	11		新保 良孝	11		倉持 隆	11	
坂路 誠	17	新井 俊雄	09	緑川 一郎	12		日比野晃久	12		山田 航平	11	
梶山 清生	17	吉田 輝彦	12	S44 谷井 明	22		小木多加志	09		大谷 彰宏	11	
村田 達夫	14	胡屋謙一郎	19	萩原 治生	17		小野 朋昭	15		横田 順平	11	
鷹取 将夫	13	横山 洋一	19	S45 石黒 孝夫	09		馬場 博規	12				
中島 秀夫	22	波多 俊吾	17	本沢 守正	10	S57 松本 仁志	12					
木俣 博匡	19	S37 小林 俊夫	09	重野 吉治	11		大城 正人	17				
戸谷 謙次	14	大塚 昭	14	永瀬 静夫	10		亀井 哲郎	17				
井出 健一	22	海老沢正昭	17	斎 茂	10		米森 弘行	09				
本田 達雄	12	上条 秀夫	10	S48 岡本 信一	10		門馬 泰史	12				
石関 巍	12	池田 謙三	12	矢部 治郎	09		庄野 栄一	11				
上島 弘安	12	S38 内田 輝雄	15	千葉 守夫	16	S58 佐久間 励	22					
矢野 智司	10	飯岡 英彦	19	前田 周司	11		勝又 泰平	12				
栗田 富雄	09	灰田 宗孝	17	S49 宮倉 修	12		田村 隆彦	09				
S27 田島 昇	09	山中岡南雄	09	佐々木博之	12		野崎 潤	10				
小長井昭司	14	町田 茂雄	11	高橋 忠夫	12		大谷 謙太	17				
黒尾 忠行	11	長谷川健美	09	菊池 秀雄	13	S59 東郷 康二	16					
田辺 英之	19	間下 肇宰	14	望陀 匠輔	17		三谷 誠治	12				
大島 巍	10	木村 嘉量	10	S50 松本 孝二	12		楠本 隆	16				
松田 公治	26	北野 恒介	12	石川 茂樹	09	S61 近藤 弘康	10					
渡邊 鈞	11	S39 加藤 仁	10	小出 信行	24		古賀 潤	10				
吉田 申一	09	保谷 源吉	10	星 俊一郎	24		山里 翼	09				
伊藤 信雄	14	佐藤 泰夫	09	小林 慶博	11		鳥海 努	09				
S32 谷越 安男	32	S40 杉山 守男	13	岡本 吾朗	24	S62 小島 圭市	12					
S33 大槻 喜弘	10	渡辺 一男	10	清水 恒二	09	S63 小島 栄	10					
砂川 雅勇	11	高橋 弘志	14	鵜沢 忠	09	H 2 原田 剛	09					
松原 健次	12	杉田 憲司	13	武田 和也	10	H 5 小島 淳	10					
伊藤 弘治	11	平野 泰宏	19	福山 茂秀	10	岩崎勝一郎	22					

高校野球観戦から 学んだこと

校長
杉 一郎



今年の全国高等学校野球選手権大会は90回の記念大会であった。本校の野球部もこの大会に向けて、本校のさいたま総合グラウンドの専用野球場等で練習を積み重ね試合に臨んだ。野球部員は選手94名と女子マネージャー4名である。

本校の野球部は全国各地から特別に選手を集めている学校ではない。生徒募集のための学校説明見学会でも、「文武両道が行えること」「自宅からの通学が可能であること」「コツコツと努力するタイプの生徒であること」「・・・」が、本校への入学するための条件である。と説明している。

2002年9月にさいたま新都心に総合グラウンドを開設(野球場、サッカー・ラグビー・陸上競技・アメリカンフットボウル場、全天候4面のテニスコート)し、6年目になる。また、そのグラウンドに隣接しているクラブハウスは2006年1月に竣工した。

野球場は専用として設置され、他に気兼ねすることなく、いつでも使用する事が可能である。少し遠いという難点はあるが、東京ドームの2.5倍もある総合グラウンドを持つ高校は、そんなにたくさんはない。指導力にすぐれた指導者スタッフ、努力し続ける生徒、専用野球場、この3つがそろったことが準優勝へのきっかけになったことには間違いない。そして、野球部員の保護者の方々のサポートも大きな存在だった。

東東京大会は公私立高合わせて114校の参加校があり、本校は決勝戦まで勝ち残った。初優勝に向けて健闘したが、惜しくも準優勝に終わった。

今大会で、高橋政貴主将と、延長戦2回を含む6試合で完投した高橋雄輝投手を中心とするチームが、試合のたびに力をつけていった。白球を追いかける選手、バッターボックスで気合を入れてバットを振る選手、どの選手も最後まであきらめない高輪台の粘り強さを見せ、応援者に多くの感動を与えた。中・高生の頃は、この野球大会で見せた試合のように、いったん火がつくどんどん燃え広がっていくのだということをこのいろんな場面で見てくれた。選手も関係者も生涯忘ることのない大会であった。

毎回、吹奏楽部、ダンス部や多くの部活動生徒、後援会、部活動後援会、高輪会(同窓会)、卒業生、教職員など多くの皆様の応援をいただき感謝したい。本校始まって以来の準決勝、決勝では全校応援ができ、学校が一体となって盛り上がりを見せた。

部活動の活躍に 寄せて

副校長
片桐 知己治



野球部が本校始まって以来初めて東東京大会の決勝戦に進出しました。(先日港区長室に表敬訪問に行きましたが、そのときのお話では、港区の高校としても初めての決勝進出だそうです。) 結果についてはみなさんご存じの通り甲子園の出場はなりませんでしたが、選手達は自分の持てる力を十分発揮してくれました。テレビや新聞が取り上げてくれたことで、たくさんの卒業生の皆さんから声援が届きました。野球場で挨拶をしてくれた人もたくさんいました。今回の野球部の活躍は、多くの卒業生の方々や在校生とその保護者のみなさん、地元高輪のみなさん、現・旧の教職員に楽しみと、本校に対する誇りをプレゼントしてくれたのではないでしょうか。いつか近い将来、甲子園で活躍する後輩達の姿を楽しみにしていて欲しいと思います。

さて、今年はこの野球部の活躍以外にもたくさんの部活動の活躍が目立ちました。昨年三年連続全国大会金賞を受賞した吹奏楽部は吹奏楽のルール(全国大会出場は連続3回まで、4年目はお休み)のため、今年はコンクールに出場することが出来ません。顧問の畠田は「今年コンクールに出られたならば間違いなく金賞を取れたのにな」と悔しがります。普門館での全国大会に出場できない分、7月にはヨーロッパに遠征してミッドヨーロッパ青少年国際コンクールに出場し、A、C部門で1位を獲得して帰国しました。

8月にはディベート研究同好会が全国大会のディベート甲子園で3位(顧問の梶川は最優秀指導者賞)を獲得。その他、ダンス部、放送部が全国大会出場。柔道部、レスリング、弓道部、アーチェリー部、軽音楽部、なぎなたが関東大会に出場しました。

また、この他の部活動についても、多くが東京都のベスト16近辺の実力を身に付けていて、どこの部活動が東京都の決勝まで駒を進めても不思議ではない状況です。

本校がここ数年打ち出している「学習と部活動の両立」が、少しずつ実績を挙げ始め、認知されてきました。勉強だけに偏ったり、スポーツだけに力を入れるのではなく、お互いを両立させ、充実した中学、高校生活を展開しようという指導方針に共鳴して、毎年たくさんの受験生が本校を志望してくれるようになりました。受験生の中には、卒業生の弟妹や御子子女の姿もたくさん見られます。本当にうれしいことと教職員一同感謝しております。

今後も、努力を重ね、この高輪台高校・中等部を益々すばらしい学校に成長させていきたいと思います。建学祭などにぜひお越し頂き、声を掛けていただければ幸いです。

新人先生紹介

「大自然から大都会へ」

小林 潔

2006年3月下旬、粉雪混じり天候の中、沢山の生活用品を自家用車に積んで苫小牧港到着。その日から、付属第四高校の生活開始。さすがに北海道、大自然に囲まれ、緑も多く空気も澄んでいました。とにかく、雪国生活というよりも氷の世界に慣れるのが大変でした。

あれから2年後、付属高輪台高校への転勤。小鳥のさえずる大自然からビル群の大都会へ。またまたの生活リズムの変化に苦労。そんな中、付属第四高校と付属高輪台高校の共通点を見つけてほっとしました。それは、“明るく素直な生徒諸君”、“熱心で個性豊かな先生方”、“元気な挨拶”。

人間は、人ととのかかわりを持たなければ生きていけません。今まで以上に人間関係の輪を広げて欲しいと思います。そして、自信を持って行動して欲しいと思います。持てる力を最大限に發揮し、目標を掴むべく努力を惜しまないでください。そうすれば、必ず新しい道が開けます。



阿部 光夫

今年度より高輪台高等学校・中等部に転勤して参りました国語科担当の阿部光夫と申します。前任校である浦安高等学校・中等部では、二十数年間お世話になり、とても充実した教員生活を送らせていただきました。これはひとえに教職員の方々や生徒たちに恵まれたからに他なりません。一言で言うならば、人情味溢れる温かい人間関係の中で職業生活を過ごすことができました。ここ高輪の地でも「教育とは人を育てること」をモットーに頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願ひいたします。



大畠 輝明

本年度付属望星高等学校から異動してまいりました。大学を卒業してからの4年間を大学本部勤務のち付属望星高校へ勤務、2000年度に第三高校（長野県）へ研修出向、2003年度・2004年度はデンマーク校へ出向しました。

付属望星高校は不登校経験者や転入生が多い学校でしたが、自分の目標に向かって歩みは遅くとも懸命に努力する生徒達に出会いました。また付属デンマーク校では塾監（寮監）として24時間生徒たちと寝食を共にする経験をするなかで、月日を重ねるごとに絆が深くなり兄弟のように励ましあって生活している生徒に出会いました。

この付属高輪台高等学校でどんな出会いがあるのか楽しみです。精一杯の力で生徒たちにぶつかって行きたいと思っています。



中村 仁

静岡・熊本の付属校を経由し、上京して参りました。数学を担当していますが、生徒の「わからない」という言葉に頭を悩ませております。彼らに「わかった！」「できた！」と言わせられるよう努力していきたいと思います。サッカー部でも妥協をしないで指導していきます。“ただ生きるな、善く生きよ”をモットーに、自分に厳しく、他人に厳しくやっていきたいと思っています。



皆川 勇太

高校生として、教育実習生としてお世話になった高輪台高校に、専任教員として戻ってこられたことを光栄に思っています。

自分のように、後で振り返って楽しかったと思える学校、卒業してからもこの校舎に戻ってきたくなるような学校作りを目指したいです。

生徒たちとともに日々学び合い、努力をしていきたいと思っていますので、ご支援の程よろしくお願い致します。



学校報告・部活紹介

◆アーチェリー部

神山 愛

アーチェリー部は月曜日から金曜日まで毎日練習に励んでいます。火曜日と木曜日は、平和島の練習場で練習しています。それ以外の日は地下3階のエレベーター前で活動しています。個人で目黒や浜町の練習場に行くこともあります。

私たちは部員、コーチ、顧問の先生、OBの方たちと仲良く部活を楽しんでいます。8月21, 22日の試合で3年生が引退してしまい、現在は1, 2年生合わせて、男子8名、女子5名、計13名となっていました。

顧問は高橋昇先生と田島一代先生です。久保誠コーチには技術的なことはもちろん、アーチェリーについて沢山のことを教わっています。

アーチェリーは屋内で行うスポーツだと思っている人も多いですが、屋外競技です。男子は90, 70, 50, 30m、女子は70, 60, 50, 30m先の的を撃ちます。学校では屋内の10m足らずのスペースか、屋外の30mの練習場でしか練習できませんが、平和島の練習場では全ての距離の練習ができます。恵まれた環境にあるとは言えませんが、毎日頑張って練習し、試合で良い成績を残そうとしています。こんなアーチェリー部を応援して下さい。



◆部活動になって6年目のダンス部

ダンス部顧問 高木公子

部活動としての歴史を重ね同好会から発足したダンス部も今年で6年目となります。その間世の中も変化し、NHK朝の連続テレビ小説でダンスを扱う「瞳」が人気を集めています。ダンスのイメージは色々ありますが、他の運動と同様に極めるには相当な練習が必要なのです。何事もそうであるようにダンスも一人よがりではいけません。常に「行動は皆のために」なのです。それを分からぬいうちはダンスではないのです。日々の練習や合宿を通してその精神を培っています。「人として美しくあれ」(人として、高校生として、ダンス部員として)を合言葉に精進しています。

その結果、この6年間で、夏に行われる「ミスダンスドリ

ルチーム日本大会」に5回出場し、4回日本大会へ出場しました。昨年はサンリオの大会で決勝まで進みました。また今年は冬に行われた「USAの大会」に出場し、予選、セミファイナルと勝ち進み決勝の舞台に立ち、フリースタイルで全国4位、しかもインプレッション賞に輝きました。

これからもダンス部の歴史をつないでいくために、顧問・部員一同ベストを尽くしていきたいと思います。皆様の温かいご支援を今後とも宜しくお願い致します。



◆野球部

この夏の結果は、生徒はもちろんであろうが、何より自分自身の大きな自信につながった。他校の全校応援を数々見てきて、「こんなところで野球できたらどんなに幸せだろうな」と感じていたことが、いよいよ現実になった。東東京大会最後の2試合。人生でも記憶にない武者震いを経験した。ベンチもスタンドも嬉々として、皆一同に素晴らしい表情をしていた。一気に甲子園まで登りつめたい気持ちは自分も生徒も応援のスタンドも同じであったろうが、次は霧囲気に感動している場合ではない。本当の喜びと感動を高輪台の関係者すべての方と分かち合いたい。そのために強く、明るく、元気な逞しい野球部をつくっていきたい。悲願の甲子園初出場に向けて日々努力を重ねていきますのでご声援よろしくお願い致します。この夏はスタンドからのたくさんの勇気・励まし・感動をありがとうございました。心より感謝いたします。



◆弓道部

顧問 東出葉月、石井達人、石坂幸一師範
2007年、2008年は弓道部にとって飛躍の年となりました。これまで弓道部は予選通過するものの、あともう一步のところで入賞できずにいました。しかし、2007年度、2008年度は各大会で入賞し、小野澤和哉君が全国高等学校選抜大会出場、更には小野闘裕君、石川賢太郎君、泉蓮君、稻葉裕基君が関東高等学校弓道大会（男子団体）に出場することができました。これもひとえに保護者の方々のご理解と石坂幸一師範の優しくも芯の通ったご指導、また本人達の練習への熱心さあってのことだと思います。

弓道部員はみな、練習や合宿を楽しみにしていて、練習日が増えれば喜んでくれる子ばかりです。そしてなによりも皆が弓道に「誇り」を持っています。今後も礼儀作法を重んじる弓道を

愛し、仲間を大切にする部員たちはこれからも東海大学付属高輪台高校弓道部の一員として飛躍してくれると期待しています。



■学校・同窓会行事（2008年8月～12月）

8月1日（金）	学園オリンピック（国語・数学・英語・造形・理科・知財・ディベート） (7月31日（火）～8月5日（日）)	18日（土）	連合同窓会総会（甲府高校にて） 〃 英語検定試験
6日（水）	学園オリンピック（スポーツ大会）（～8日（木））	23日（木）	1年学年集会
11日（月）	教職員一斉休暇（～15日（金））	25日（土）	第2回受験生・保護者学校説明会（高校）
23日（土）	東海カルチャー・セミナー	11月1日（土）	建学記念日（生徒休業日）
9月1日（月）	避難訓練・朝礼・授業開始	4日（火）	創立65周年建学記念式典
4日（木）	学園基礎学力総合試験・外部実力試験	20日（木）	生徒会立会演説会
6日（土）	後援会委員総会	7日（金）	後援会湘南校舎見学研修会
9日（火）	中学校巡回・中等部水泳実習	8日（土）	第3回受験生・保護者学校説明会（中等部）
16日（火）	高校期末試験（～29日（金））	13日（木）	一斉公開授業（～14日（金））
17日（水）	中等部期末試験（～29日（金））	16日（日）	第3回受験生・保護者学校説明会（高校）
22日（月）	中等部写生大会	22日（土）	3学年スポーツ大会
27日（土）	保護者会	27日（木）	生徒による授業評価アンケート
30日（火）	体育祭	29日（土）	後援会委員総会
10月1日（水）	後期始業式・後期授業開始・中学校教員説明会	30日（日）	高輪会「いとし会」
4日（土）	第43回建学祭（～5日（日））	12月2日（火）	中間試験中等部（～3日（水）） 中間試験高校（～5日（金））
9日（木）	3学年集会	4日（木）	中等部スポーツ大会
10日（金）	2年保護者面談（～11月22日（土））	5日（金）	中等部校外行事
11日（土）	2年スポーツ大会	6日（土）	第4回受験生・保護者学校説明会（高校）
12日（日）	第2回受験生・保護者学校説明会（中等部）	13日（土）	第4回受験生・保護者学校説明会（中等部）
		15日（月）	入試相談
		25日（土）	希望者講習（～27日（土））

2007 年度活動報告

2007 年度 収支決算書

(2007 年 9 月 1 日～2008 年 8 月 31 日)

(単位：円)

収支	科 目	予 算	決 算	備 考
前 年 度 總 越 金	6,109,556	6,109,556		
1. 入 会 金	4,840,000	4,840,000	卒業生より入会金 @10000 × 484 名	
2. 維 持 会 費	500,000	521,940		
3. 懇 親 会 費	0	198,000	定期総会懇親会費、御祝儀	
4. 積 立 金	0	0		
5. 積 立 金 総 入	0	0		
6. 預 金 利 息	0	8,596		
7. 雜 収 入	0	0		
合 計	11,449,556	11,678,092		
1. 会 議 費	300,000	655,978	定期総会、役員会等費用	
2. 広 報 費	50,000	88,000	連合同窓会報費	
3. 渋 外 費	300,000	419,927	連合同窓会参加費等	
4. 印 刷 費	2,000,000	2,134,347	高輪会会報、ラベル、出欠はがき、案内状等作成費等	
5. 通 信 費	1,500,000	9,100	会報郵送料等（昨年度に計上）	
6. 旅 費 交 通 費	250,000	231,800	連合同窓会等の交通費	
7. 事 務 用 品 費	50,000	0		
8. 懇 親 会 費	700,000	684,800	景品代	
9. 記 念 品 費	400,000	350,532	卒業記念品（証書ホルダー）他	
10. 捕 助 費	0	0		
11. 慶弔 費	50,000	10,000	お見舞金として	
12. 援 助 費	100,000	750,000	吹奏楽部金賞受賞賛賀会支援金 @500000 東海大学ルマンレース参戦援助金 @250000	
13. 積 立 金	500,000	1,000,000		
14. 予 備 費	50,000	0		
15. 雜 費	50,000	1,260	振込手数料	
次 年 度 總 越 金	5,149,556	5,342,348		
合 計	11,449,556	11,678,092		
積 立 金	前 年 度 總 越 金	1,000,000	1,000,000	
	今 年 度 総 出 金	0	0	
	今 年 度 総 入 金	500,000	1,000,000	
	次 年 度 總 越 金	1,500,000	2,000,000	
備考（会報掲載等）				

2008 年～2009 年度事業計画

(2008 年 9 月 1 日～2009 年 8 月 31 日)

2008 年 9 月	役員会
10 月	連合同窓会総会
11 月	いとし会（30 日）
12 月	
2009 年 1 月	
2 月	役員会
3 月	高輪会入会式・新幹事「懇親会」
	第 60 回「卒業証書授与式」参列
4 月	中等部第 3 回・高校第 66 回「入学式」
	参列
5 月	役員会・連合同窓会会长会議
6 月	
7 月	役員会
8 月	
9 月	「高輪会会報 vol.14」発刊

お知らせ

□会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費 1 年分（2 千円）～5 年分（1 万円の一括）の納入を受け付けております。
何年分か明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用下さい。

口座番号 00100-9-155498

口座名（加入者名）高輪会

※氏名欄には、必ず卒業年、組をご記入下さい。

尚、すでに納入済の節はご容赦下さい。

□住所不明者の調査

会報の届かない方（住所不明者）等をご存知の方がいらっしゃいましたら、情報（氏名、卒業年、等）を同窓会事務局までご連絡下さい。

□ホームページ開設

高輪会のホームページが開設されています。

同窓会の皆様へ同窓会をもっと身近に関心を持って戴く様に、様々な情報を発信していくようと思っておりますので、どうぞご覧になってください。

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

編集後記

この夏は最高でした。野球部が第 90 回全国高等学校野球選手権大会に出場し、東東京大会で準優勝を飾りました。野球部創立以来の決勝進出だそうです。本当にめでとうございます。また、吹奏楽部は全日本吹奏楽コンクールで、3 年連続金賞を受賞した翌年はお休みのため、7 月に海外遠征をし、11 回ミッド・ヨーロッパ国際青少年吹奏楽コンクールで、145 名の部員が参加し、カテゴリー A とカテゴリー C の 2 部門で一位を受賞しました。今後の活躍が益々楽しみです。

さて、高輪会では、11 月に第 3 回いとし会の開催を予定しております。13 名の恩師を招待し、楽しいひとときを過ごしていただけるよう、役員、実行委員が協力し、準備を進めていますので、一人でも多くの皆様のご参加をお待ち申上げます。

同窓会連絡先

高輪会（東海大学付属高輪台高等学校同窓会）事務局

〒 108-8587 東京都港区高輪 2-2-16

TEL : 03-3448-4011 · FAX : 03-3448-4020

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>
高輪会事務局分室（株）山久プランニング内（東海大学付属

高輪台高等学校同窓会 伊藤信雄）

〒 113-0033 東京都文京区本郷 1-14-8 丸山ビル 1F

TEL : 03-5840-6347 · FAX : 03-5840-6348

E-mail : syamakyu@drive.ocn.ne.jp